

# 法徳寺だより

第86号 発行  
浄土真宗本願寺派  
**法徳寺**  
厚木市岡田5-4-12  
TEL 046-228-3962  
住職 伊東英俊  
法話 伊東英幸  
編集 伊東祐子

## 降誕会・永代経法要

平成20年5月11日(日)  
午後1時半～3時頃

わたしたちの浄土真宗の宗祖である、親鸞聖人の、お誕生を祝う降誕会法要(ごうたんえほうよう)と、永代経法要(えいたいきょうほうよう)を合同で行います。  
当日は、お宅様の読み上げと、法話がございます。  
どうぞ、みなさまそろって、ご参加下さい。  
尚、毎月行っているニコニコ法話会を、五月の回として兼ねておりますので、よろしくお願いいたします。

〈法要に持参する物〉

過去帳・位牌  
読み上げ用紙 お念珠  
お経の本(お持ちの方)



### お知らせ

このたび私、伊東知幸(弟)は法徳寺副住職を退任し、善林寺八千代別院主幹となることになりました。突然の報告に驚かれたことでしょうか、妻の実家(築地の善林寺)の住職(眞柄信雄師)が念願であった別院を千葉県八千代市に計画し、四年前に本堂、礼拝堂、霊園が完成し八千代聖苑として運営して参りました。私も家族は息子の小学校入学を期に八千代市のマンションに移り住み、八千代聖苑の主幹として従事することになりました。とはいえ現在、法徳寺の仕事量は大変多く、八千代聖苑の管理運営に携わる一方、法徳寺の法務もこなすため、時々、厚木まで出張する予定ですのでこれからも宜しくお願いします。  
また八千代聖苑では墓地の新規斡旋を受け付けております。各行事の法要や法話会も予定してまいります。

善林寺八千代別院 八千代聖苑 千葉県八千代市桑橋115

TEL 047-459-3733

地下鉄東西線より快速乗車  
直通東葉高速鉄道「八千代中央」下車、タクシーで10分



## 今後の行事予定♪

- 5月11日(日) 降誕会・永代経法要 (ニコニコ法話会を兼ねております)
- 6月 2日(月) ニコニコ法話会 午後1時半～3時
- 7月 2日(水) ニコニコ法話会 午後1時半～3時
- 8月15日(金)・16日(土) お盆法要
- 8月20日(水) 法徳寺子ども会
- 9月 2日(火) ニコニコ法話会 午後1時半～3時
- 9月23日(火) 秋分の日 秋季彼岸会法要  
<秋季彼岸会期間 9月20日(土)～26日(金)>
- 10月 2日(木) 念仏奉仕・ニコニコ法話会 午後1時半～3時
- 10月 9日(木) 報恩講準備・速夜法要 午後5時～6時
- 10月10日(金) 報恩講日中法要 午前11時
- 11月 4日(火) ニコニコ法話会 午後1時半～3時
- 11月13日(木) 築地本願寺報恩講団体参拝 終日
- 12月 2日(火) ニコニコ法話会 午後1時半～3時

都合により日時等を変更する場合があります。ご了承下さい。時間の記載がないところは未定です。随時、ご案内いたします。



### 《その他の行事》

初参式(赤ちゃんの初参り) いつでも受付しています。  
七五三 お寺で七五三のお祝いが出来ます。  
お気軽に、お問い合わせ下さい。  
TEL・046-228-3962(法徳寺)

### ご案内

法徳寺には、敷地内に永代合祀墓がございます。納骨を、ご希望の方はお気軽にご相談下さい。寺が責任をもつて永代にお護りいたします。



法徳寺墓地内の永代合祀墓

### 築地本願寺の成人式



2008年1月20日(日)築地本願寺にて、成人式が行われました。法徳寺からは壮年会員「岩本さん」のお孫さんである「岩本進太郎さん」が参加されました。ご成人、おめでとうございます。



法徳寺別院 立德寺のお知らせ  
毎月の法話会 15時より16時  
4月13日、5月18日、6月8日  
046-391-2471  
伊勢原市桜台3-16-9  
どうぞ、お気軽にご参加下さい。

法徳寺のホームページを開設しております。  
<http://homepage3.nifty.com/houtokuji/>  
次回の法徳寺だよりは7月初旬のお盆号です。

### おねがい

ご法事を行うにあたり、現在、土日に予約が集中しております。僧侶の人数も限られているため、ご希望に添えない場合もあります。平日ですと、比較的予約がとりやすいので、ご考慮下さい。また、会場も、お寺の本堂をぜひ使って頂きたいと思っております。

# お彼岸法要

平成二十年三月二十日、二十一日の二日間、法徳寺本院にて、春のお彼岸法要を行いました。当日は、春の嵐のごとく、雨風が強い中、たくさんのお参りの方が訪れました。

ここで、当日の法話を紹介させていただきます。

(法話)

本日は、彼岸法要です。彼岸とは「かの岸」と書きます。つまりお浄土のことを現します。彼岸に対して、私たちの住んでいるこの世界を「この岸」といいます。彼岸法要とは、私たちがお浄土(彼岸)へ生まれていく道を聞かせていただくための法要です。決して先祖供養のための法要ではありません。しかし、ご先祖や、先にお亡くなりになった方のため

の法要といっても間違いではありません。この彼岸という法要は、私達が仏になられた方の願いに合わせていただくためのものです。

亡き人の願いは仏の願いと同じです。仏様の願いは、慈悲ともいいますが、私の人生に安心と心強さを与えてくださる導きをい

います。先立つた大切な方を、この私を導いてくださる存在として手を合わせていくことはとても尊いことです。ですが、時に不幸が重なる時、ご先祖が迷っているせいでと心配される方がおられます。しかし、ご先祖様が迷っていると考える前に、まず自分自身が仏様のみ教を聞かせていただくことが大切です。確かな心よりどこを導きたいまま、自分の命の帰る場所を知らずに生きてい

らば、迷っているのは私自身なのでしよう。そんな私を心から案じ、願いをかけてくださる、仏様がいらつしやることを聞かせていただくのが仏法なのです。その教えによって、私が亡き人を心配するより先に、私のほうが案ぜられ、見守られていることに気付くことができるのです。

仏になられた人の願いの中には、私たちの帰る「いのちの故郷」に気付いて欲しいという願いもあります。皆さんも旅行をされたことがあることでしょう。旅行が楽しい旅にな



る一番の理由は、帰る我が家があるからです。人生という旅をしていく上で、自分の命の帰る場所を知らなければ、行く当てもわからず、帰る場所も知らず、ただたださまよいの人生になってしまいます。しかし阿彌陀様は、私たちが必ず彼岸(お浄土)という、いのちの故郷に生まれていくのだから、安心して精一杯生きてくださいと、私に願いをかけてくださっているのです。仏になられた方が本当に喜ぶことは、亡き人が残してくださった仏縁を大切にし、私にいのちの故郷が用意されていることを、喜ばせていただき、この人生を精一杯生きていくことなのです。

最初に彼岸の法要は亡き方やご先祖のための法要でもあるといいました。それは決して供養の意味ではなく、彼岸という仏縁の中で私が仏法を聞き、心強さをいただいで生きていくことこそが、仏になられたかたの願いであり、一番お慶びになられることだからです。

そうだったな、うれしいな、心強いなと思つた時には、どうぞ南無阿彌陀仏とお念仏申してください。そのお念仏申す時はまさに仏になられた方のハタラクの中に包まれていると感じることが出来るのです。このお彼岸を縁として、またお念仏申す日暮しを、送らせていただきたいものです。

(法話担当 法徳寺別院立徳寺 毛利祥生)

# 法話



お寺には有り難いことに、

たくさんのお方が、お参りしてくださいます。それは、同じように、愛する方を失った方がたくさんいらっしゃるということなのです。家で、一人であるときは、どんな思いがするでしょうか、寂しい思いをしているのは、自分だけじゃないだろうか不安になるときもあると思います。しかし、こうして、お寺にお参りして阿彌陀様の前に座らせてもらいますと、同じように、辛い経験された方々ばかりだということに気づかされると思います。そして、

現に今、ご病氣やさまざまな悩みに苦しんでおられる方も多いことでしょう。阿彌陀様は、そんな思いをされている皆様に向かつて、「寂しい思いや辛い思いをされているのは、あなた一人ではないですよ。私は、そんなあなたをそばをいつも離れることはありませんよ」と励ましてくださっているのです。先日、テレビで有名なスピリチュアルカウンセラーの江原啓之(えはら

ひろゆき)さんが、「供養」とは、相手を心配させないこと。とおっしゃっていました。

皆さん、供養とは、どういう意味だとおもいますか？供養という字は、供えるに養うと書きます。仏様にお参りする際は、お供え物をして、亡き方に喜んでもらおうというのが、養うという字の意味だと思えます。しかし、浄土真宗の教えでは、養われているのは、私の方です。よと教えていただくのです。亡き方が、私たちのことを、いつも心配し、幸せにならうとほし、守つてあげたいとはたらいてくださっているのです。亡き方に、心配かけないこと、人生を輝かせること、これが、最高の供養なのです。

人生は、辛いことがあつたり、失敗したり、後悔の連続だと思えます。しかし、失うものが多いぶん、得るものもおおいのが人生です。亡き方は、仏様となつて、いつも、皆さんの人生を輝かせるように願いはたらき続けてくださっているのです。そして、必ず、浄土へと導いてくださるのです。いつか、お称えください。

(法徳寺 伊東英幸)

# 法徳寺仏教壮年会野外研修会

三月二十八日(金) 法徳寺仏教壮年会野外研修会を行いました。当日はお天気が危ぶまれましたが、なんとか雨も降らずに行くことができました。今回の野外研修会のメインは、大和市の常泉寺です。常泉寺は、ご住職が苦心して育てられたミツマタや花桃が見事なお寺です。まさに「花浄土」にふさわしく、「かながわの花の名所百選」に選定されています。

桜の季節とかさなり、心癒される一日を、過ごすことができました。

